



河合克平 議員

愛西市の財政状況を問う

**問** 税金というのはため込むものではなく、今いる人たち、今生活をしている人たちのために住民サービスをして返していくべきではないかと考える。平成27年度の決算の内容で基金の状況は。

**総務部長** 南海トフフ地震などの災害時の復旧や地方債の償還等、おのこの基金の目的に対し財源を確保し、将来にわたる市政の健全な運営に資するためのものだ。借入金残高も勘案すると、現状の基金残高が必ずしも過大な規模であるとは考えていない。

**問** 27年度決算で70億円の基金がある。市民1人当たりの平均は、約10万円となる。多いか少ないかわかりづらい。近隣自治体や、県内の各自治体の平均は。

**総務部長** 26年度では、津島市2万7千100円、弥富市4万7千900円、あま市5万2千700円、稲沢市2万800円、蟹江町3万3千500円、飛島村97万1千400円だ。県内54市町村の住民1人当たりの平均は2万9千600円、愛西市は8万7千500円で、

順位は9番目に多い。

**問** 起債(借金の金額)は。

**総務部長** 27年度の決算では27億4千万円、住民1人当たりでは34万8千500円だ。

**問** 起債のうち、地方交付税で措置される借金の残高は幾らか。

**総務部長** 残高に措置率を掛けると、多く見積もって、約195億円の交付税措置が見込まれる。

**問** 差し引きすると30億円近くが、直接的な市の財政からの負担になる。交付税を財源としながら、今の市の財政力を市民サービスの向上に充て、市の運営に生かすことを考えていかなければならない。市の財政運営について、見解は。

**市長** 市政運営に地方交付税も大きく寄与している。財源の一つと認識し、有効的に活用している。

愛西市	平成27年末
基金(預金)	70億8,000万円
地方債(借金)	227億4,000万円
国からの交付	▲199億8,400万円
実質負担分	27億5,600万円
預金と負担の差	43億2,400万円

▲愛西市の預金と借金の状況



大野則男 議員

事業決定に対するチェック機能は

**問** 公共事業を進めるうえで、決定までのプロセスと内部のチェック機能は。また、優先順位など今までの現在の違いは。

**八開塩田道路改良事業で、決定までのプロセスと内部でのチェックは。代替案を含め安価で、より効果的な方法を考へての採択か。総合計画になく、なぜ平成27年度の計画に唐突に入れたのか、不自然な計画ではないのか。**



▲塩田交差点

**産業建設部長** 道路工事での土地取得の手順は、地元要望を受け、道路改良の必要性、緊急性、事業効果を検討し、あわせて国・県の補助金の採択要件に合つか確認する。事業採択が決まれば、用地測量、道路設計を行い、道路用地として必要な部分を用地買収する。用地買収金額は、不動産鑑